

副専攻名 比較社会経済**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

国際経済や経済史に加えて、世界各地の社会や経済を学ぶ専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を見る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
5. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
8. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
9. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|----------|---|-----|----|----|
| 13011 | 西洋経済史A | 近代から現代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによって、 1. 経済学的な分析手法の基礎を習得することができる。 2. 現在のヨーロッパ経済の歴史的基礎を理解することができる。 | 2～4 | | 2 |
| 33501 | 西洋経済史B | 古代から近代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによって、 1. 経済史から経済学にアプローチする手法を身に付けることができる。 2. 現在のヨーロッパ経済の歴史的基礎を理解することができる。 | 2～4 | 2 | |
| 13027 | 日本経済史A | 1. 日本帝国主義を含む戦前日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的にとらえることができるようになる。 | 2～4 | | 2 |
| 33505 | 日本経済史B | 1. 戦後日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的にとらえることができるようになる。 | 2～4 | 2 | |
| 13013 | アジア経済史A | 近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。 | 2～4 | 2 | |
| 33507 | アジア経済史B | 近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。 | 2～4 | | 2 |
| 33509 | 社会思想史A | 現代社会が抱える自由、平等、人権、マイノリティ問題等を考えるさいの方法的視野を広げることができる。 | 2～4 | | 2 |
| 33511 | 社会思想史B | 現代社会が抱える自由、平等、人権、マイノリティ問題等を考えるさいの方法的視野を広げることができる。 | 2～4 | 2 | |
| 33513 | 世界経済論A | 20世紀以降の世界経済の展開と概要を、先進国と途上国の関係から学ぶ。 | 2～4 | 2 | |
| 33515 | 世界経済論B | 1. 発展途上国経済の現状について学ぶ。 2. 先進国の発展途上国支援やBOPビジネスについて理解する。 | 2～4 | | 2 |
| 33517 | 国際公共経済論A | 1. 国際政治経済秩序の根幹を成す「国際公共財」につき、①「国際公共財」とは何か、②「国際公共財」の形成・発展過程について理解することができる。 2. 国際政治経済学の代表的理論について理解することができる。 | 2～4 | 2 | |
| 33519 | 国際公共経済論B | 国際法、国際機構、対途上国援助など、現代世界における主要な国際公共財について、具体的に理解することができる。 | 2～4 | | 2 |
| 13015 | 比較経済体制論A | 比較経済学に基づき歴史的・制度的視点から世界経済動向を理解し、現在を捉える力を養う。 | 2～4 | 2 | |
| 33521 | 比較経済体制論B | 比較経済学に基づき世界各地の経済システムの特徴を理解し、現在を捉える力を養う。 | 2～4 | | 2 |

副専攻名 比較社会経済**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

国際経済や経済史に加えて、世界各地の社会や経済を学ぶ専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を見る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
5. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
8. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
9. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|-------------|---|------|----|----|
| 33523 | 環日本海地域論A | | 2～4 | 2 | |
| 33525 | 環日本海地域論B | | 2～4 | | 2 |
| 33527 | ヨーロッパ経済統合論A | EUとは何かを理解し、国際社会におけるEUの位置と役割が理解できるようになる。 | 2～4 | 2 | |
| 33529 | ヨーロッパ経済統合論B | EUの抱えている問題と課題について、国際社会における現実との関わりで応用的に理解ができるようになる。 | 2～4 | | 2 |
| 33531 | 社会言語学A | 日本語と日本社会との関連を見る目を養うことを目標とする。 | 2～4 | 2 | |
| 33533 | 社会言語学B | 日本語と外国語の発想性の異同を分析できるようになる。 | 2～4 | | 2 |
| 33535 | 東アジア社会情報論A | 東アジア社会の民族問題について現状を理解する。 | 2～4 | 2 | |
| 33537 | 東アジア社会情報論B | 東アジア社会の多様な文化・言語の現状について理解する。 | 2～4 | | 2 |
| 33539 | 国際金融論A | 国際金融論の理論・制度・現状をバランスよく理解出来るようになる。 | 2～4 | 2 | |
| 33541 | 国際金融論B | 基礎知識を前提に、世界各国が直面する複数の課題に視点を広げ、国際金融の現代的な問題や、歴史の中での経験、及び将来のあるべき制度について、自分自身の見識を持つことが出来る。 | 2～4 | | 2 |
| 33543 | 国際経済学 | | 2～4※ | 2 | |

※隔年開講